

## 様式11

### 指定管理者の評価に係る合議の概要

<b>施設名</b>	箕面市立船場図書館
<b>指定管理者名</b>	国立大学法人 大阪大学
<b>開催日</b>	令和7年（2025年）9月9日（火）
<b>開催場所</b>	箕面市立船場図書館 3階 A Vコモンズ
<b>合議の出席者</b>	箕面船場まちづくり協議会 文化分科会座長 福留 和彦 氏 おはなしサークル たんぽぽ 山浦 久子 氏 船場図書館 利用者 稲垣 房子 氏

\*傍聴者：0名

【概要】別添のとおり

【概要】	
内容	<p>令和7年9月9日（火）に箕面市立船場図書館にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。</p> <p>1) 市勢年鑑による令和6年度(2024年度)館別蔵書数について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船場図書館にある大阪大学の蔵書数が減っているが理由はあるのか。 (指定管理者による説明)</li> </ul> <p>重複資料による除籍などで増減することはある。なお、開館当初の60万冊は製本されていない雑誌も含んでいるが、今回の配布資料の冊数には含まれていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西南、東、小野原の各館とも貸出冊数はほぼ同水準であり、箕面市全体としても中央図書館を中心にバランスの取れた貸出状況となっている。</li> </ul> <p>2) 指摘事項改善進捗チェックシートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい日本語での利用案内は良い内容である。掲示する時は大きいサイズにしてほしい。 (説明) 今後検討していきたい。</li> </ul> <p>3) 利用者アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員が日頃から尽力されていることが、アンケート結果からも強く感じた。私たち読み聞かせ団体も長年にわたり多くの本を利用しておられ、何かと対応いただいている。図書館側から利用者に対して期待していることがあれば、ぜひ伺いたい。 (説明) 図書館ならではの新しいアイデアや取り組みがあれば、ぜひご提案いただきたい。図書館は、気軽に立ち寄れる場所として多くの方に利用していただきたいと考えている。「図書館はこうあるべき」といった固定観念にとらわれず、何かご相談があれば遠慮なくお知らせいただきたい。</li> <li>・お話会の選書の際に本を広げる場所が使えることが大変ありがたい。ただし、図書館内では声を出すことが難しい場面もあるため、今後は気軽に相談させていただきたい。</li> <li>・図書館本来の役割を損なわず、市民がその意義を理解した上で施設を利用する事が重要だと考える。利用者自身も図書館の使い方について学んでいく必要があり、利用者が主体的に学べるような取り組みがあれば良いと思う。図書館は単に蔵書を揃えるだけでなく、「本をどのように読んでもらうか」という点も大切な役割である。 また、部屋の提供は、利用目的が「図書館の本を活用すること」であることが前提となると考える。 (説明) 部屋の貸し出しについては、どのような目的でも利用できるわけではなく、「図書館の本を活用すること」が条件となる。</li> <li>・図書館には多様な利用方法があると思うが、単に場所だけを提供することには疑問を感じる。図書館には多くの本や学びの資源があり、それらをどのように活用していくかは、市民一人ひとりが意識していく必要がある。部屋の貸し出しも含め、今後どのように図書館づくりを進めていくかが課題である。</li> <li>・大阪大学の本の延長手続きや返却期限などがWEB上で確認できない点については、紙の貸出票を紛失すると期限が分からなくなってしまうため、改善を希望する。</li> </ul>

# 様式11

(説明)

大阪大学のセキュリティは学内の認証システムと連携することでセキュリティの高い状態となっている。一般の方に提供するにはセキュリティを下げなければならず対応は難しい。

## 4) 図書館を利用した感想について

・るくすは誰でも自由に入り出しきれる印象だが、もっと気軽に会話ができる雰囲気があれば良いと感じている。また、館内で音楽が流れていると聞いたが、実際に聴いたことがない。

(説明)

無音のままだと会話がしづらく、逆に音量が大きすぎても問題があるため、現在はクラシック音楽を流すなど工夫している。平日は多くの学生が利用しており、朝から一人で利用される方も多い。グループ利用がしやすいよう、会話のきっかけとなるモデルケースがあると良いと考えている。利用人数や雰囲気のバランス調整は難しい課題だが、職員が打ち合わせに使用することで、利用のモデルになるかもしれない。図書館側が思うように利用者を誘導できていない現状もあり、今後も試行錯誤を続けていきたい。郷土資料なども積極的に活用していきたい。

## 5) 図書館システム更新について

- ・箕面市の図書館システムが変更されるが、サービスの向上につながるのか。

(箕面市による説明)

これまでバージョンアップできていなかった部分の改善などを予定している。端末やサーバーの入れ替えに伴い休館期間が発生するが、他市よりも短期間で実施する予定である。

## 6) SNS を利用した広報について

・図書館のイベント情報は、写真付きでSNSに掲載していただけると、利用者が情報を得やすくなると思う。

(箕面市による説明)

今後、箕面市公式X(旧Twitter)でおはなし会などのイベント情報を発信する予定である。

・すべてのサービスがオンライン化されると、利用が難しくなる方もいるため、アナログな対応も残していただきたい。

## 7) 総評

アンケート結果については概ね満足度は高く、全体的に好印象となっている。

合議は今回で4回目だが、毎年課題に真摯に向き合っていて評価できる、また様々なイベントなど新たな試みを積極的に取り組まれていることや、他団体と連携したサービスの充実も評価委員から好意的な意見が寄せられた。

本施設の管理運営については、大学法人が指定管理者であるという特色を活かした運営がなされており、今後もその強みをさらに実施事業へ反映していくことが期待される。以上のことから、市としては、指定管理者による運営が総じて円滑に行われていると評価する。